

月信

GOVERNOR'S MONTHLY COMMUNICATION

2023-2024

最終号

July
Vol.13



世界に希望を生み出そう



撮影：赤沼健至

CONTENTS

ガバナーからのメッセージ	2
第31回インターアクト地区大会開催報告	3
ローターアクト地区年次大会が開催されました！	
ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付	4
新入会員のご紹介・訃報	

電子BOOK CONTENTS

新旧合同地区チーム会議 報告	5
シンガポール国際大会出席報告	8
創立記念式典	10
ガバナー補佐活動報告	15
地区委員長活動報告	26

RID2600 国際ロータリー第2600地区

RI 会長 / ゴードン R. マッキナリー
RI 理事 / 佐藤芳郎 (岡山南RC)
ガバナー / 折井正明 (松本RC)



RID2600
Web Portal



月信 最終号
電子ブック版



国際大会動画



エンドポリオ動画

Rotary
District 2600



国際ロータリー第2600地区は新年度から月信を紙媒体から電子ブック化へと移行いたします。これにより、より環境に優しい形式での情報提供を実現し、会員の皆様に迅速かつ便利なアクセスを提供します。電子ブックの採用により、情報の共有や交流が一層活発化し、より広範な層にアピールできる機会も広がります。新しい形式の月信で、より充実したロータリーの活動をお伝えいたします。

皆さん一年間ありがとうございました!

国際ロータリー第2600地区 2023-2024年度ガバナー 折井 正明



第31回インターアクト地区大会開催報告

2024年6月9日(日) 松商学園インターアクトクラブ(提唱クラブ松本RC)をホスト校として第31回インターアクト地区大会が開催され、地区内のインターアクター、ローターアクター、米山奨学生、ロータリアン総勢240名に及ぶご参加を賜り、盛会のうちに無事終了いたしました。

テーマは「COLORFUL HORIZON 色とりどりの世界でつながろう」です。IAの活動を通じて、多様な世界に触れることができたので、もっと多様な視点を持てるようにとの思いを込めたとのこと。午前中は各校からの活動報告をしていただき、東京大学名誉教授 板垣雄三氏より「人類の宗教と文化を見わたす」という演題で基調講演をいただきました。また午後は6つの分科会に分か

インターアクト小委員会委員長
飯沼 新吾
(松本南RC)



れ、普段はなかなか触れない世界に触れることができました。参加者全員にとって刺激の多い一日であったと思います。地区最大のクラブ員を擁する松商学園IACらしい底力を感じる本当に素晴らしい大会でした。

このような地区大会を開催していただいた松商学園IACの皆様、松本RCの皆様に改めて心より御礼申し上げます。開催のご報告とさせていただきます。

ローターアクト地区年次大会が開催されました！

RI2600地区ローターアクト(2023～24年度)第47回地区年次大会が、「奇手～RAC通算2600笑～」という地区テーマのもと、上田市の東急REIホテルにて盛大に挙行されました。ご多忙の中、折井ガバナー、小林ガバナーノミニー、桑澤パストガバーを始めとして多くのロータリアンの皆様にご参加を頂きました事をこの場をお借りして御礼申し上げます。どうもありがとうございます。

4クラブ21名のローターアクターが知恵を絞り、企画を考え、手作り感満載の年次大会になりました。今年のRA地区代表である上田RACの原崇人君の職業が電車の運転士という事もあり、原君自らが運転する上田電鉄別所線の車内で各クラブの活動報告を行うなどいつもとは違う企画を実行する事が出来ました。おそらくこれは他地区のRACも含めて初めての試みではないかと思えます。当日は好天にも恵まれ、ちょっとした大人の遠足気分で

ローターアクト委員会委員長
飯島 洋一
(上田東RC)



車内が大いに盛り上がりました。その後、場所を東急REIホテルに戻して記念講演が開催されました。長野県議会議員であり信州プロレス代表のグレート☆無茶様より「児童養護施設についての現状」という演台にて講演をいただきました。政治家として子供たちに正面から向き合う真摯な姿勢に感銘を受けると同時に、他方エンターテイナーとしての顔もお持ちであり、懐の深さ、人間力の高さを強く感じる講演だったと思います。

プログラム終了後も懇親会、二次会と盛り上がりは続き、長い、そして楽しい上田市での1日となりました。



ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付



千曲川RC
なつかわ しゅうすけ
夏川 周介
■ PHF



佐久コスモスRC
あさおか のりみつ
浅岡 徳光
■ PHF



佐久コスモスRC
なかの えみ
中野 恵美
■ 第1回米山功労者



佐久コスモスRC
みやま たけふみ
宮森 武久
■ 米山功労者 5回



上田西RC
やまぎし のぶゆき
山崎 信幸
■ 米山功労者 3回



上田六文銭RC
しみず かずのり
清水 一典
■ PHF



長野RC
ふじい だいらう
藤井 大史郎
■ 第1回米山功労者



長野RC
ふじもり ひでお
藤森 英夫
■ 第1回米山功労者



長野RC
むろが えいすけ
室賀 栄助
■ 米山功労者 4回



須坂五岳RC
かみざわ ひろみつ
上沢 広光
■ 米山功労者 17回



松本東RC
ながた としゆき
永田 利行
■ PHF



松本東RC
もみやま しき
粉山 志基
■ 第1回米山功労者



大町RC
ふじまき ひでたか
藤巻 秀卓
■ PHF



松本南RC
ほり ただし
堀 忠士
■ 米山功労者 2回



木曾RC
ひの ぶんぺい
日野 文平
■ MPHf 1回



塩尻RC
しもじま けん
下島 健
■ 米山功労者 7回



塩尻RC
つづく ふみお
都筑 文男
■ 米山功労者 16回



塩尻RC
よしえ ただまさ
吉江 忠正
■ 米山功労者 9回



岡谷RC
やじま すすむ
矢島 進
■ 米山功労者 7回



岡谷エコーRC
いまい たかし
今井 孝寿
■ 米山功労者 2回



岡谷エコーRC
みやか だいご
宮坂 大吾
■ PHF



岡谷エコーRC
みやさか ひろあき
宮坂 好史
■ MPHf 1回



岡谷エコーRC
よしだ まさし
吉池 雅志
■ 第1回米山功労者



岡谷エコーRC
やまだ まさよし
山田 昌義
■ 第1回米山功労者



飯田南RC
なかじま じゆんじ
中島 淳治
■ 第1回米山功労者



飯田南RC
ひだた としかず
久田 俊和
■ 米山功労者 12回



飯田南RC
まつした とおる
松下 透
■ 米山功労者 3回



佐久コスモスRC
しらとり のりひろ
白鳥 敬日瑚
■ MPHf 6回

新入会員のご紹介



長野RC
あまの てつじ
天野 哲至



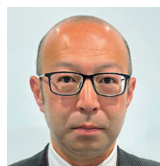
長野南RC
きたざわ みき
北澤 美紀



長野東RC
くぼた かずみ
久保田 一臣



長野東RC
よしだ たけふと
吉田 武史



松本RC
こまつ しゅうすけ
小松 修輔



松本東RC
おはた けい
小畑 啓



松本東RC
しみず かずひこ
清水 一彦



松本東RC
はなむら けいこ
花村 恵子



伊那RC
くどう ようすけ
工藤 陽介



伊那RC
なかむら しゅういち
中村 修哉



伊那RC
まきの よしゆき
牧野 由征



駒ヶ根RC
たこう まさき
田幸 真樹

計 報



佐久コスモスRC
かしばやし たかし
檜山 孝
享年 81 歳
2024年4月17日ご逝去



伊那RC
こばやし たかゆき
小林 孝行
享年 79 歳
2024年6月9日ご逝去

国際ロータリー第 2600 地区事務所

info@rid2600jp.org

■ 折井正明ガバナー事務所

〒390-0811 松本市中央1-23-1 松本商工会館4F
TEL:0263-38-0800 FAX:0263-38-0801

■ 折井正明ガバナー・クラブ事務所(松本RC内)

〒390-0814 松本市本庄1-3-10 大同生命松本ビル6F
TEL:0263-32-2340 FAX:0263-35-5775

<https://www.2600rotary.club/top>

新旧合同地区チーム会議 報告

折井年度の最後の地区行事として、6月15日(土)に新旧合同地区チーム会議が、松本市のホテル プエナ・ピスタで開催されました。地区チーム会議は、パストガバナー、折井年度・白鳥年度の地区チームスタッフが一堂に会し、実績・課題を共有する場として企画されています。本会議では、折井ガバナー、各グループのガバナー補佐、地区委員長から本年度の活動実績が報告され、ガバナー・地区幹事のバッジの引継が行われ、ガバナー補佐・今年度限りで委員長を勇退される皆さんへの記念品の贈呈が行われました。

2023-24 年度地区幹事
渡辺 聡
(松本 RC)



ガバナーバッジ引継



パストガバナーの皆さんと



地区幹事バッジ引継



折井年度ガバナー補佐の皆さん



本年度で勇退される委員長の皆さん

懇親会では、ご出席いただいたパストガバナーの皆さん、白鳥年度の地区チームの皆さんからコメントを頂戴し、新旧年度の「継続と前進」を確認し大いに盛り上がりました。



全員で「あと少し」!



引継のハグ

折井年度では、折井ガバナーのリーダーシップのもと地区を挙げて「ポリオ根絶」に取り組みましたので、各グループからの報告も「古着deワクチン」や各グループで独自に企画された「ポリオ根絶イベント」の報告が多くなりました。地区全体での取り組みをレビューする意味で、地区大会で掲示した「ロータリアンのグッドジョブ」のパネルを再掲して、地区チーム・会員の皆さまへの御礼に代えさせていただきたいと思えます。

2600 地区(長野県)の ロータリアンの Good Job !



梱包キット購入
1 キット 3,300 円



1 キットで
ワクチン 5 人分寄贈

梱包キットを拡げると約 30kg の
古着を詰め込むことができます

東信第一グループ：45 キット

- 軽井沢ロータリークラブ
- 小諸ロータリークラブ
- 佐久ロータリークラブ
- 佐久コスモスロータリークラブ

東信第二グループ：100 キット

- 上田ロータリークラブ
- 丸子ロータリークラブ
- 上田東ロータリークラブ
- 上田西ロータリークラブ
- 上田六文銭ロータリークラブ

北信第一グループ：119 キット

- 長野ロータリークラブ
- 長野南ロータリークラブ
- 長野西ロータリークラブ
- 須坂ロータリークラブ
- 戸倉上山田ロータリークラブ

中信第一・第二グループ：365 キット

- あづみ野ロータリークラブ
- 松本ロータリークラブ
- 松本東ロータリークラブ
- 松本城ロータリークラブ
- 大町ロータリークラブ
- 本巣ロータリークラブ
- 松本空港ロータリークラブ
- 松本南ロータリークラブ
- 松本西南ロータリークラブ
- 信州友愛ロータリークラブ
- 塩尻ロータリークラブ

北信第二グループ：60：キット

- 長野東ロータリークラブ
- 長野北東ロータリークラブ
- 長野北ロータリークラブ
- 中野ロータリークラブ

上伊那グループ：100 キット

- 伊那ロータリークラブ
- 伊那中央ロータリークラブ
- 駒ヶ根ロータリークラブ
- 箕輪ロータリークラブ
- 長野ロータリークラブ

下伊那グループ：80：キット

- 飯田ロータリークラブ
- 飯田東ロータリークラブ
- 飯田南ロータリークラブ
- 天竜川ロータリークラブ

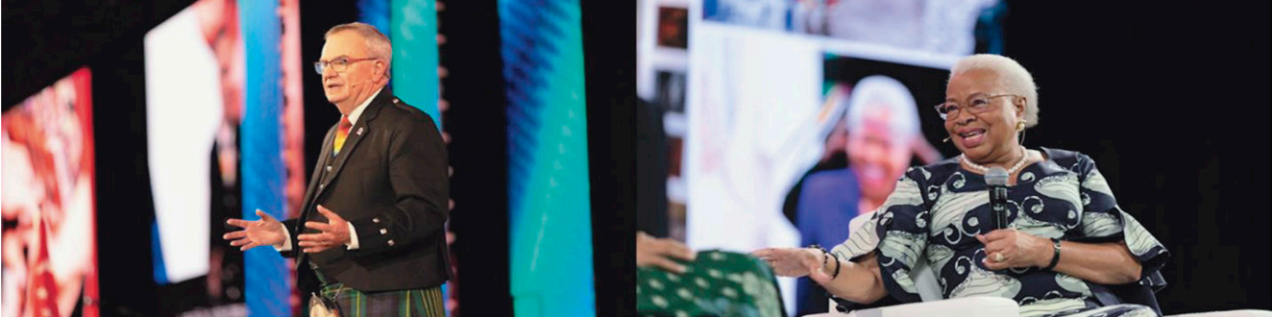
**869 キット
ワクチン 4,345 本
を寄贈達成**

協賛：諏訪グループ チャリティーゴルフ大会
白馬ロータリークラブ・白馬高校インターアクトクラブ ポリオ募金活動

シンガポール国際大会報告

2023-24 地区幹事 渡辺 聡 / 地区副幹事 宮坂 昌樹

シンガポールでの2024年ロータリー国際大会は、国際的な人道家のグラサ・マシェル氏やゴードン R. マッキナリー国際ロータリー会長がより公平でより平和な世界のために行動を起こすことを呼びかけ、グローバルな視点を強調して幕を開けました。国際大会は、「世界から集まる行動人たちが、世界や地域が抱える課題への解決策について考え、持続可能な変化を生み出す活動の成果を祝う場」として設定されていますが、特に「行動すること」が強調されているように感じました。



ゴードンR. マッキナリー国際ロータリー会長

グローバルリーダーシップのグループ
「TheElders」の共同創設者グラサ・マシェル氏

国際大会そのものがショーとしても大変見応えのあるもので、シンホー・ライオン&ドラゴンアーツ・トループによる獅子舞やEl Circo Artemis によるシルク・ド・ソレイユを彷彿とさせるパフォーマンス等、会員に同伴した子供達も十分楽しめる構成になっていました。(カルガリー国際大会の登録料は5～18歳の同伴者がUS \$40、5歳以下の同伴者の登録料は無料です。)

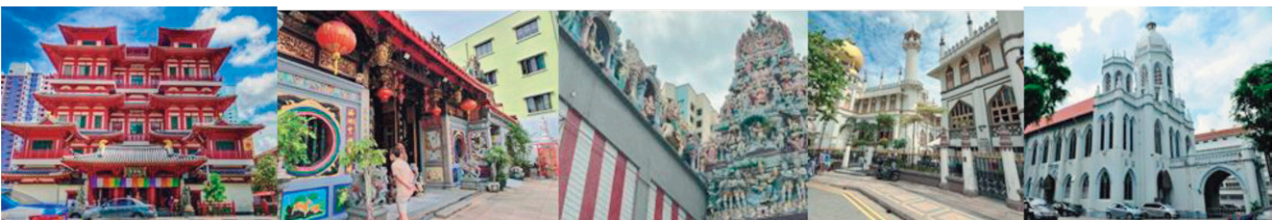


シンホー・ライオン&ドラゴンアーツ・グループ

El Circo Artemisのショー

本会議を楽しむ子どもたち

ごく短い滞在でしたがシンガポールの街を巡って大変印象的だったのは、多民族・多文化・多宗教が何の違和感もなく共存していることでした。中華街・アラブストリート・リトルインディアと、それぞれが観光名所になるほどのアイデンティティーを維持しながら、基層となるマレー人社会の中に溶け込んでいる国の形は大変考えさせられるものでした。



仏教寺院 (仏牙寺)

道観 (龍山寺)

ヒンズー寺院

スルタン・モスク

キリスト教会

(文責 渡辺 聡)

市内観光班ではマーライオン、チャイナタウン、マリーナベイサンズ周辺を観光しました。かつては世界三大がっかり名所のひとつに数えられておりましたマーライオンは、マリーナベイサンズの開業により状況は一変し、インスタ映えする撮影スポットとして今や大人気でありました。また異国情緒溢れるチャイナタウン散策後に訪れたマリーナベイサンズとの対比も大変刺激的でございました。



マーライオンとマリーナベイサンズ



佛牙寺龍華院



マリーナベイサンズ屋上からの眺望

メインイベントのひとつでもありますガバナーナイトには第2600地区から50人もの多くのロータリアンとご家族の方々にご参加いただきました。会場はシンガポールの繁華街にありますコンラッド・オーチャード・シンガポールでミシュランの星付きレストランでもあるサマーパレスの素晴らしいお料理とお酒に舌鼓をうちました。折井ガバナー年度の締めくりにふさわしい素晴らしい仲間たちとの語り、そして最後に「手に手つないで」を合唱し、名残惜しい夜は終焉を迎えました。新たな希望を胸にふくらませて…。



(文責 宮坂 昌樹)

大町ロータリークラブ創立60周年記念式典の報告

大町ロータリークラブ創立60周年記念式典を、5月25日(日)「ANAホリデイ・インリゾート信濃大町くろよん」にて開催しました。開催日は大町ロータリークラブ全会員が出席できる25日に決定しました。

当日は、来賓として国際ロータリー第2600地区パストガバナー 桑沢一郎様、大町市長 牛越徹様、招待者として親クラブの松本南ロータリークラブ 野本会長はじめ、中信第一グループ各クラブより出席いただき、横澤厚信実行委員長、藤巻会長の挨拶で開会しました。

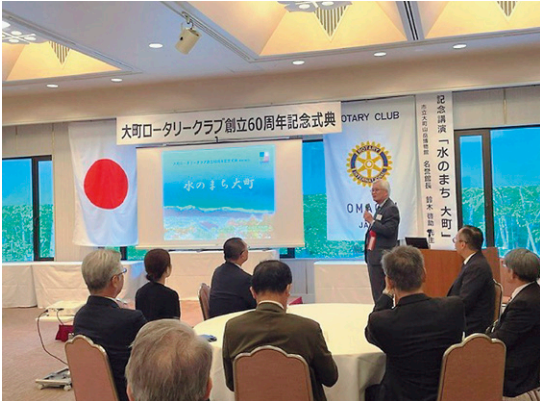
式典では記念事業として大町市へ「お誕生日カード」30万円分を寄贈、桑沢一郎パストガバナー様にはロー

大町RC幹事
横澤 賢樹

タリー財団・米山記念奨学会の寄付金の目録をお渡ししました。

記念講演は「大町の水」の演題で、信州大学名誉教授・大町山岳博物館名誉館長の鈴木啓助先生よりご講演していただきました。改めて大町の水の素晴らしさ大切さを認識しました。

その後祝宴に移り最後は「手に手つないで」を歌いお開きとなりました。



長野北ロータリークラブ創立40周年記念式典・祝賀会開催報告

令和6年6月1日、長野北ロータリークラブ創立40周年記念式典・祝賀会を開催致しました。長野市長萩原健司様、カバナー代理として白鳥敬日瑚ガバナーエレクト様と、近隣のロータリークラブ会長幹事の方々。そして遠方より姉妹クラブの伊勢中央ロータリークラブからは40名の会員の皆様にもご出席いただきました。

記念式典においては、我がクラブが誇る女声合唱団コーロ・ユリ・バーラと男声合唱団コーロ・ビバーチェによる合唱を披露致しました。記念事業と致しまして、長野市様には30万円を、また長野赤十字病院様に50万円の寄付の目録をお渡ししました。

祝賀会では記念コンサートとして、事前に誰かは告知していませんでしたが、花の82年組の早見優様にご出演いただきました。そしてその素敵な歌声を堪能し、楽しいトークとジャンケン大会で大いに盛り上がりました。祝宴ではアトラクションでカラオケを行い、サプライズとして敏いとうとハッピー & ブルーの元ボーカル古閑正美様に登場していただき、皆さんに楽しんでもらえました。

長野北RC 創立40周年記念事業実行委員会 事務局長
岩下 和宏

翌日には記念ゴルフコンペ並びにエクスカッションも開催し、多くの方々にご参加いただきました。ありがとうございました。



白馬ロータリークラブ創立50周年記念式典・祝賀会

7月16日、白馬ロータリークラブの50周年を迎え、謹んで皆様にご報告できました。

記念式典は記念行事と記念祝賀会の二部で構成され、参加者の皆様ご協力の元で、すべて予定通り、順調且つ盛大に執り行うことができました。この場を借りて、お礼と感謝を申し上げます。

今回の記念行事は、白馬南小の生徒全員を対象に「歩行ケアの測定」をすることで、即時に測定結果を発表し、講評及び健康指導も行いました。保護者も含めて、歩き方と健康寿命の関連性をよく理解していただき、今後の健康且つ楽しい人生に役に立つ有意な活動であり、活気に溢れ、大変盛り上がった学校参観日にもなりました。

第二部の祝賀会は、丸山 白馬村村長様、中村 小谷村村長様、松本 白馬商工会会長様には大変お忙しいご公務中、ご光彩を添えていただきました。

また、国際ロータリー第2600地区 折井ガバナーを始めとし、ロータリー関係者の皆様と、白馬ライオンズクラブ 田中会長様にご臨席いただきました。

前年度白馬RC会長
山東 誠

当クラブは1974年に創立以来、歴代国際ロータリーの会長テーマ、地区活動方針に基づき、青少年育成を中心としたクラブ活動を主に展開し、遂行して参りました。代表的な活動の一つとして、国際ロータリー交換学生のスキー集いin白馬があります。最盛期から現在の少人数クラブになっても、計34回もやり続けて、やり遂げてきましたことは、自負できる成果であると考えております。

クラブの先輩たちの素晴らしい功績を称え、皆様と共に50周年の喜びを分かち合うことができたと思います。一方で、会員数の激減により直面する課題も山積しています。会員全員一丸となって時代の変化に合わせた新しいクラブ運営を模索し、努力してまいりますので、今後も変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

★記念行事



★祝賀会



軽井沢ロータリークラブ創立60周年式典

我が軽井沢ロータリークラブは、長野ロータリークラブをスポンサークラブとして、1964年 昭和39年9月14日に、創立され、佐藤不二男 初代会長の基に、活動をスタートし、現在に至ります。

この創立60周年、人であれば還暦でございますが、その節目の年度に、歴史と、伝統ある軽井沢ロータリークラブの会長を、仰せつかりましたことは、身に余る光栄でございます。

ここ数年は、コロナウイルス感染症の世界的な蔓延により、社会は大きく変化し、私達の生活も、我慢を強いられており、当然ながらロータリー活動も、強烈な変革を求められ、テレワークや、オンライン会議などの対応を、余儀なくされておりました。

我がクラブでも、米山梅吉氏が「例会は人生の道場」とおっしゃられる例会も満足に開催することがまま、ならない時期もあり、親睦活動や、委員会活動も制約されてしまいました。

そして1972年から、軽井沢RCとグアムRCで、高校生の派遣と受け入れを行い1度も途切れること無く、48年間継続しておりました交流派遣事業の中止を、余儀なくされてしまいました。とても、とても、残念な気持ちで一杯でございましたが、新たな節目の今年度から、高校生の交流派遣事業を、再会することができましたことは、とても嬉しく、喜ばしいことでございます。

我がクラブは、歴史と伝統を守りつつ、新たな時代へ、対応できるクラブづくりを念頭に、更に、発展できるよう会員一丸となって、活動し

軽井沢RC会長
小野 克永

て参りますので、皆様方にはこれまで以上に、ご理解・ご協力をいただけますよう、お願い申し上げます。

そして創立60周年のコンセプトは、今の時代だからこそ、お金をかけずに、知恵を出しあって、手作りの「会員皆で心に残る、創立60周年を祝いましょう!」です。ご案内も、封書ではなく、メールのご案内とさせていただきました。記念誌もメンバーで、校正や、編集を行い、データを印刷屋さんを持ち込むだけの、とても、安価な、印刷物でございます。

本日は、式典の主催クラブとして、行き届かない点も、あるかとは存じますが、どうぞ最後まで、宜しく申し上げます。

最後に、ロータリークラブの、さらなる発展、ならびに、ご臨席たまりました、ご来賓の皆様、姉妹クラブ様、そして友好クラブ様、並びに、ロータリアンの皆様と、ご家族の皆様、ご出席いただきました知人の皆様の、ご健勝と、ご多幸を祈念しまして、私の挨拶といたします。本日は誠にありがとうございます。



箕輪ロータリークラブ創立50周年式典

箕輪ロータリークラブは創立50周年を迎え、6月27日金曜日に創立50周年記念式典を開催しました。式典には第2600地区ガバナー折井正明様をはじめ、上伊那グループガバナー補佐、次期上伊那グループガバナー補佐、上伊那グループ全ロータリークラブ会長、箕輪町町長、南箕輪村村長、箕輪町商工会会長、南箕輪村商工会会長、青年会議所理事長、米山記念奨学生、ボーイスカウト箕輪第1団団委員長、長野ジュニアフェンシングクラブの皆様がご来賓としてご出席くださいました。

箕輪クラブは辰野ロータリークラブ様をスポンサークラブとして1974年6月30日に発足し、創立以来小規模ながらも地域社会への貢献を続けてきました。創立当初から掲げた青少年交換事業やボーイスカウト事業は現在に至るまで継続的に行っており、これらの活動はクラブの根幹を成しています。

記念式典のハイライトの一つは、50周年を記念して行われた特別寄付の発表でした。特別寄付として以下の寄付が行われました。

- ロータリー財団クラブ創立50周年特別寄付
- 米山奨学金クラブ創立50周年特別寄付
- 箕輪町への寄付:65型テレビ、紅葉湖へのもみじ植樹、ロータリー文庫50周年特別寄付
- 南箕輪村への寄付:65型テレビ、大芝高原への植樹、ロータリー文庫創立50周年特別寄付
- ボーイスカウト箕輪第1団への創立50周年特別育成資金
- 長野ジュニアフェンシングクラブへの創立50周年特別育成資金

これらの寄付は、地域社会への感謝と今後のさらなる発展を願って行われました。

式典の後には祝賀会が開催され、地元バンドによる音楽演奏のアトラクションも催されました。記念式典後の祝賀会は終始和やかな雰囲気で行われ、ご来賓の皆様や会員の皆様とともに箕輪ロータリークラブ創立50周年の節目を祝うことができました。

箕輪ロータリークラブの50周年を記念したこの式典では、地域社会との絆を再確認し、未来への新たな一歩を踏み出す貴重な機会となりました。箕輪ロー

箕輪RC 創立50周年記念式典実行委員長
荻原 直己

タリークラブは、引き続き「奉仕の理想」を実践し、地域の皆様とともに成長し地域社会に貢献し続けることを誓い、そして未来に向けて力強く歩みを進めてまいります。

今回の式典が開催できて、多くの方々の支援と協力に感謝の意を表しますとともに、地域の皆様に今後も変わらぬご支援をお願いさせていただいたことに感謝し、箕輪ロータリークラブ創立50周年記念式典のご報告とさせていただきます。



ガバナー補佐活動報告

東信第一グループ

東信第一グループ8クラブは、“エンドポリオ・古着de ワクチンイベント”として、10月22日、佐久市の県立武道館に集結し、58個の梱包キットを持ち寄りました。トラックの荷台に山積みとなったキットを見送り、地区重点目標である“あと一步まで来たポリオ根絶のために私たちは行動する”こととなりました。

同日には、ロータリーデーとしての“歩行ケア市民セミナー”を、主催・共催クラブとなって開催しました。200名を超える市民のみなさまがご参加くださり歩行計測・パネルディスカッションをお楽しみいただきました。僅かながらでも地域にインパクトをもたらすことができたのであれば嬉しい限りです。

IM・会員セミナーは、東信第一・第二グループ合同で、2月17日、佐久一萬里温泉ホテルにて開催されました。グループの活動報告、桑澤PGによる会員セミナー、佐久総合病院統括院長・渡辺仁先生によるIM基調講演「Think globally, Act Locally」において、多くの貴重な示唆をい

東信第一グループ ガバナー補佐
羽毛田 匡
 (南佐久RC)



ただきました。懇親会では“アンサンブル小海”による弦楽三重奏を聴きながらロータリアンの親睦と友情を深めました。

古着de ワクチン、IM・会員セミナーとも、折井ガバナーにご参加いただき、地区標語である“手をつなぎ行動するロータリーの喜びを発信しよう!”をグループ全体で実現できたものと確信しております。

ガバナー補佐として、事前訪問、ガバナー公式訪問を通じて、各クラブの伝統ある例会や地域に根差した活動を知り多くの学びを得ました。グループの活動においては皆様の温かいお力添えをいただき実行することができました。まことにありがとうございました。



ガバナー補佐活動報告

東信第二グループ

折井年度のスタートは2022年9月10日・11日松本商工会館で行われた第一回次期ガバナー補佐研修セミナーで有る。

次期研修リーダーの古川パストガバナーより①ガバナー補の責務②研修の目的③RCの新たな動きと地区の現状等・・・②折井ガバナーエレクトより「地区運営の方針と戦略」と題しての講和でDEIを精神的支柱として、RCの最優先事項であるポリオ根絶活動実現に向けた具体的行動計画の一環として、ポリオデーに2600地区一斉に「古着でワクチン」を実施したい趣旨の説明があり、此れはENDPOLIO戦略の実現だけでなく地域社会を巻き込んだ「公共イメージ向上」更に「会員増強」に繋がるサブ的効果もあると熱く語られ、折井さんの強い意志を感じた。が実現に向けて若干の不安材料もあるが「ポリオ撲滅」と云う“錦の御旗”が有り、県下一斉での実施は社会的インパクトも強くRCにとつて非常に有意義で有るとの認識に立ち、「東信第二」は全面的に協力すべく準備に入りました。

グループ内に持ち帰ると多様な意見が有りましたが慎重審議の議論・打合せを重ねて紆余曲折を経た後に5クラブ共同開催のコンセンサスを心得て合同での「補助金事業実行委員会」を立上げる事が出来ました。

AG幹事の飯島君を「講演会の部」、田守君を「古着の部」の責任者として各クラブの会長・幹事・担当者を選任して頂き、作業の具体案を試行錯誤のうえ詰め10月22日を迎え、一般の方々にも多く参加を頂き盛大に開催する事が出来ました。前半の講演の部はリオオリンピック200m平泳ぎ金メダリスト金藤理絵さんの「あきらめない心」でお話を頂き、後半は彼女にも協力を頂き梱包・搬送を行いました。特に古着は当日のみでは処理できず会議室に積み上げて置き、後日佐川急便に取りに来て頂

東信第二グループ ガバナー補佐
西入 悦雄
(上田東RC)



く程盛況でした。

次に恒例のガバナー訪問ですが8月28日上田RC・丸子RC、9月20日上田東RC・六文銭RC、10月19日上田西RCで実施と地区で決まっております、その1週間前に5クラブへの事前訪問を済ませて置きました。ただ、丸子RCさんには、私自身がコロナを患った関係でリモートによる参加に成り御迷惑をお掛けしてしまいました。特に注意を要した事は事業計画の伝達も有りますが、折井ガバナーの人柄をどの様な形で皆さんに伝えられるか!!! 地区と各クラブの橋渡しに苦慮致しました。

後の大きな事業はIMですが、東信第一との共同開催で今年度は東信第一の南佐久RCが主で我々東信第二の上田東RCは補助役なので企画面等全面的にお願いし運営部分で協力して成功裡に終わる事が出来ました。又、例年行われている5クラブ合同の新年会(1月17日)は東急レイ、合同ゴルフも立科ゴルフクラブ場(5月19日)で和気藹々の中で実施され懇親を深める事が出来ました。

4月24日には新旧会長・幹事の引継ぎ会を香青軒で行い、懸案であった地区の米山委員も決定して次年度の久保田ガバナー補佐に無事全て引き継ぐ事が出来ました。

此れ以外に年度の始まりと中間(2月2日)に居酒屋で各クラブの会長・幹事、ガバナー補佐2名と懇親会を行い忌憚の無い意見交換ができ親睦を深める事が出来ました。

改めて関係者の皆様に感謝を申し上げて1年を閉めたいと思います“有り難う”御座いました。



ガバナー補佐活動報告

北信第一グループ

2023-2024 折井ガバナーのもと、北信第一グループガバナー補佐をさせていただきました須坂ロータリークラブ湯本浩司です。

コロナが2類から5類になり社会も少しずつですがコロナ禍前に戻ろうとしております。

RIテーマ「世界に希望を生み出そう」から、10月14日に長野メトロポリタンを会場にIM&会員セミナーのテーマを「地域に希望を！（持続的社会的形成）」として開催致しました。

基調講演では、第一生命経済研究所首席エコノミスト永濱和慶氏より「コロナ禍の地域の未来展望」と題して講演して頂き、折井ガバナーの地区標語「手をつなぎ行動するロータリーの喜びを発信しよう」を胸に刻み北信第一グループのメンバーが活動を通して、地域が元気になるように講演して頂きました。

また、2600地区行動計画のポリオ根絶活動の必要性を、会員セミナーで国際ロータリー第2地域 ポリオ根絶コーディネーターの伊藤雅基バスターガバナーの講演を頂き、10月22日のポリオデーに向けて、より多くのメンバーに「古着deワクチン」キットを使用してポリオ根絶を理解して頂き、ポリオデーに向かいました。

懇親会は、3歳より故木鎮一に師事。人と反対に構える特別な奏法により左手のハンディを克服。15ヶ国にて演奏他、アメリカにて1年間バイオリン指導も経験。エンターテインメントとしてのバイオリンパフォーマンスを模索し1998年から「声をかけていただければどこへでも」モットーに国内外で演奏活動を行なう、牧 美花のウエルカムコンサートで一気に盛り上がり、本当に有意義なIMでした。

古着deワクチンは、10月22日に北信第一グループ須坂、須坂五岳、長野南、長野西、更埴、戸倉上山田の6クラブ約50人のメンバーと、須坂創成高校インターアクトクラブの高校生、地域おこしやボランティアに関心のある市民有志で作る「あっぶさいくる蔵部」のメンバー、一般市民ら約20人も協力し参加して、須坂市勤労青少年体育センターで古着などの回収活動を行いました。

当初の計画では、全市にチラシ広告をする予定でしたが、メンバーの第一生命が先行して広報をすると、ものすごい量が集まり、急遽30キット増やして、チラシ広告を中止し、「あっぶさいくる蔵部」のメンバーにSNSあげて頂いた広報だけにしました。

北信第一グループ ガバナー補佐
湯本 浩司
(須坂RC)



各クラブのメンバーや関係者、一般市民の家庭や事業所に眠っている衣類・バッグ・靴・アクセサリ・毛布・タオルなど不用品の提供を呼び掛け、後もう少しまで来たポリオ根絶アピールすることができ、当日会場に持ってきてくれた市民も多く、また各クラブで集めた物を合わせて130キット、長野クラブが10月24日ポリオデーに合わせて30キット、北信第一グループ全体で160キット達成致しました。感謝いたします。

皆様に紹介したい事例が、いくつかありますのでご紹介させていただきます。

戸倉上山田クラブが5月に開催したライラは、昨年の9月イベントを開催して、バーベキューの火起こしに2時間もかかった反省点を考慮して開催出来き、また基調講演の冬季五輪スピードスケート金メダリスト高木奈那さんの「自分で考えて行動する」講演は心に響きました。盛りたくさんのプログラムもイベントのおかげで無事に終了できました。

更埴クラブのタイ・チェンマイ里親制度に同行させて頂き、里子の家庭を訪問して会食し里子に直接奨学金を手渡すので、里子の顔や環境がわかり感激をして参りました。

長野南クラブは、能登半島地震の支援を志賀クラブと友好関係で支援をしましたが、こちら側で必要だと思う物を送るのではなく、相手方と連絡を取り合って今必要な物を送る支援をしたそうで。これも相手の立場に立っての支援だと思います。

各クラブを訪問し、色々な奉仕活動をして楽しいロータリー活動をしていることが感心致しました。

最後に、シンガポール国際大会でガバナーナイトに、夫婦で参加出来て楽しい一年でした。

本当にありがとうございました。

ガバナー補佐活動報告

北信第二グループ

2023年春から準備活動を開始し、折井ガバナーのもと、北信第二グループのガバナー補佐として、微力ながら務めさせていただきました。年度の活動については、統一された明確な活動指針と「古着でワクチン」といった具体的行動テーマがあり、ガバナー補佐としてとても行動しやすかったと、思っております。北信第二グループ内の強固な団結の醸成とともに、ロータリークラブの未来に向けた活動ができたものと思っています。

ロータリークラブに所属してから期間は長かったものの、実質経験が乏しく、些か心もとないガバナー補佐でありましたが、第二グループの各クラブの会長様はじめ多くのロータリアンにお支え頂き、無事、お役目を果た

北信第二グループ ガバナー補佐
池田 茂
(中野RC)



せたことに対して、改めてここに御礼申し上げます。多くの皆さまにお目にかかることができ、私にとってまたあらたな世界が広がったと喜びにいっぱいです。ガバナー補佐の活動を通じて、ロータリーの素晴らしさを再認識し、今後ともロータリアンとして微力ながら精進いたしますことをお誓い申し上げて、年度の活動報告に代えさせていただきます。



ガバナー補佐活動報告

中信第一グループ

折井ガバナーが中信第一グループの為にしっかり支えたい気持ちでスタートしました。

今年のテーマはポリオ撲滅とし非常にわかりやすいのをえたテーマでした。

10月22日 松本の信毎メディアガーデンでの「古着 de ワクチン」のイベントは大成功でした。中信第一・第二グループでの共同事業はロータリアンとして大きな達成感に溢れたイベントとなりました。松商インターアクトやローターアクトの応援もさわやかでした。11月25日 あづみ野ロータリークラブ主催によるIM・会員セミナーでは会員増強委員長の金児委員長に素晴らしい講演をいただきました。グループ内では十分会員増強が出来たとは言えませんが、今後に期待したいと思います。2月には松本城ロータリークラブによる「みんなの音楽祭」が開催され、多くの皆さんが参加されました。

今年度は3クラブの周年行事がありました。大町ロータリークラブ創立60周年、白馬ロータリークラブ創立50周年、松本東ロータリークラブ創立40周年、と大変おめでとうございます。

中信第一グループ ガバナー補佐
場々 洋介
(あづみ野RC)



今年のシンガポール国際大会は私にとって初めての国際大会参加となりました。

あいにく登録料を払わなかったのでイベント会場には入れませんでした。日本人朝食会や折井さんのガバナーナイトは豪華でした。2600地区で50人の参加はびっくりです。マリーナベイ・サンズはビルの上に船が載った新しい観光スポットに感心しいろいろの方向から観察できたことが印象的です。高所恐怖症のため最上階には行けませんでした。プールが最上階にはあります。弾丸旅行でしたが 松本ロータリーの皆さんや松本南クラブの小林さんと飯沼さんと楽しく街を観光できました。

今年一年を通して一番の成果は5クラブの皆さんとお近づきできたことと知り合いが増えたことでしょう。一年間ありがとうございます。



2024.10.4 あづみ野RC



2023.10.22 信毎メディアパーク



2023.11.25 IM・会員セミナー



2023.11.9 松本RC訪問



2024.2.3 みんなの音楽祭



2024.4.19 松本東RC 創立40周年記念式典



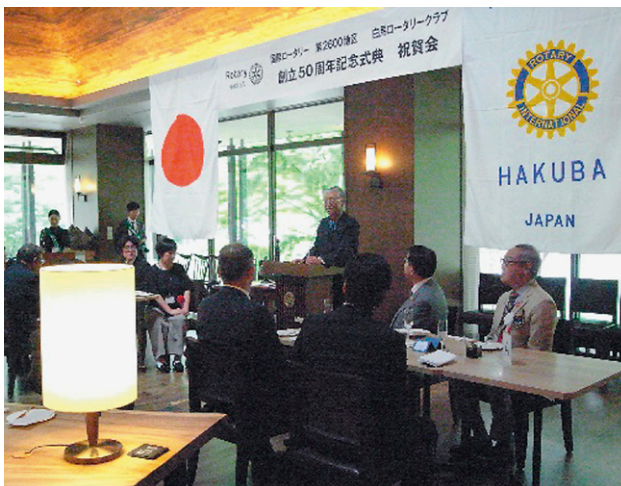
2024.6.26 マリーナベイ・ Sands



2024.6.26 ガバナーナイト 50名



2024.5.25 大町RC 創立60周年記念式典



2024.6.16 白馬RC 創立50周年記念式典

ガバナー補佐活動報告

中信第二グループ

私は、中信第二グループのガバナー補佐を拝命し、グループ内の6クラブを担当させていただきました。昨年の春から前年度の金児ガバナー補佐のお供をして以来、夏から秋にかけては、折井ガバナーの事前訪問、そして公式訪問。最終の訪問は、次年度の日野ガバナー補佐と共に、一年のお礼と引継ぎの訪問をさせていただきました。

振り返りますと、折井ガバナーは、RIマッキナリー会長の方針にからめ、ポリオ根絶を旗印に2600地区を上手にまとめて来られました。『古着でワクチン』の事業には、地区の殆どのクラブが何らかの形で参加し、赤いTシャツを大勢のメンバーが着て、たくさんの古着と共に会員同士の親睦も深めていただいたものと思います。

ロータリーの公共イメージも上がり、地区大会では、コロナの報道でお馴染みになった、尾身先生をお招きしての講演会を開催されるなど、コロナ禍を理解するうえで中身のある活動が展開されたと思います。

さて、私が責任者のIMですが、今回は「青少年の育成と国際交流」をテーマに選びました。発想のきっかけは、松本南クラブで毎年後援している「外国人留学生の日本語スピーチコンテスト」でした。今回IMの実行委員長をした、松本南クラブの荒井会員の肝いり事業です。様々に松本で学ぶ外国人留学生が、その支援ファミリーの会の皆さんに支えられ、日本で生活する苦勞や喜び、感動を覚えてたの日本語で披露します。ロシアとウクライナの学生が同じステージで顔を真っ赤にしてスピーチしたこと。中国や韓国・東南アジアの学生たちが、松本が大好きで、出来たらここで就職したいと話したこと。国際的な仕事に従事して、日本と母国の懸け橋になりたいと語った学生もいました。

私たちロータリーの多くの資金は、米山奨学制度や、青少年交換留学制度に使われ、組織としても大きな力を注いでいます。

国際平和がゆらぐ今日において、国と国との懸け橋になるような青年の育成は私たちの喫緊の課題であります。

そしてもう一つのテーマ、国際交流については、冒険家の小口良平さんに講演をお願いしました。小口さんとは、私

中信第二グループ ガバナー補佐
小林 磨史
(松本南RC)



の母校東洋大学の県総会でお会いしました。そこでの彼のスピーチは、会場全員の心を動かしました。岡谷市出身の冒険家、30代から自転車の世界160か国近くを回ったお話でした。どちらかというと控えめで、これからの人生に迷い悩んだ青年が自転車で走らせ、人と出会い、世界を駆け巡る中、人の優しさに触れ、夢を実現していく実話です。家で待つ奥さんや母親、家族の励ましも支えになっていました。

IMでは、前段の研修で、信大の下里先生に松本の留學生の現状についてお話頂き、それを受け、荒井実行委員長とのコーディネートで、当グループで活躍しているお二人の米山奨学生に、米山奨学制度の実際を聞きました。現状から改善点を見つけ、今後活かす目的でした。後半の講演会は、行動する若者の代表として、冒険家の小口さんに、自転車で世界160か国を回った体験を通しての世界観や、これからの若者に必要な夢の描き方をお聞かせ頂きました。今回の講演ビデオは、グループ内のインターアクトクラブに贈呈させていただきました。

さて、ガバナー補佐、そして重複して務めてまいりましたガバナーノミニーの役割は何かと終え、これからは、ガバナーエレクトとしての任務が待っています。既に、地区の主だった皆様と接触させていただき、第2600地区の運営についてご協力をお願いしています。

私を支えていただく松本南クラブにおいても、当該年度の地区チームを編成してもらい、活動に入ろうとしています。

私も徐々に自分の考えをまとめる準備にかかっています。

私は、ロータリーの活動は、各クラブあってのものだと思っています。地区の立ち位置は、クラブの応援団です。

当該年度は、各クラブのためになるテーマを掲げ、楽しく参加していただける2600地区をめざそうと思いますので、引き続きご協力の程を宜しくお願い申し上げます、ご報告と致します。



ガバナー補佐活動報告

諏訪グループ

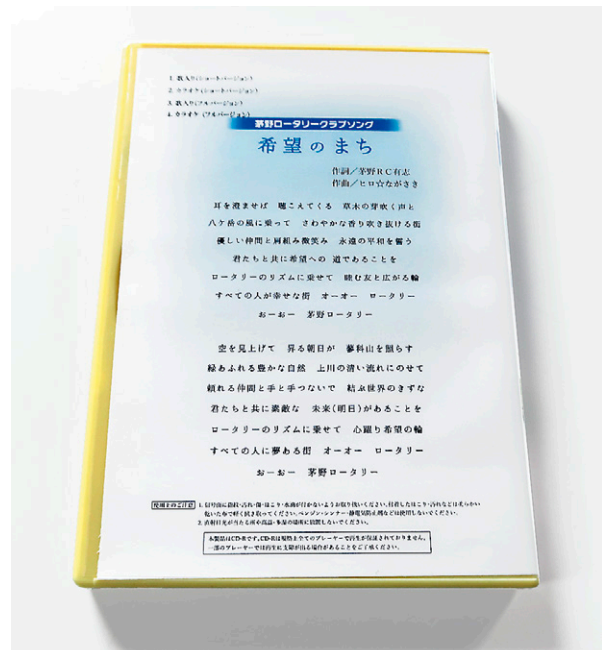
ご存じのとおり、2024年は波乱の年明けとなりました。元旦に起きた能登半島地震では、豊かな自然に囲まれた能登の社会インフラは失われ、支援物資の搬入もままならず、孤立した集落の皆さんは不安の中での避難生活を強いられました。そして、半年が経過した今でも復興の作業は被災者の皆さんの期待に充分応える程は進んでいません。私達は諏訪グループIMの開催に合わせて、被災された国際ロータリー 2610地区（富山・石川）の石川第4グループ（穴水・能都・珠洲・内浦・輪島）のガバナー補佐さんに義援金をお送りしました。先日輪島クラブの会長さんからも、ご丁寧なお礼文を頂きました。「寒天のまち茅野」と天草の生産地である珠洲市は昔から特別な関係でしたが、これからはまた違ったお付き合いも出来たらと思います。

また、2月25日のIMに合わせて準備してきた事のもう一つに「クラブソング」の制作があります。実は岡谷エコークラブを訪問させて頂いた時にエコーさんには独

諏訪グループ ガバナー補佐
篠原 敏
(茅野RC)



自のクラブソングがあることを知り、帰ってから早速、茅野クラブのIM実行委員会の皆さんにお願いして作り初めました。歌詞は会員全員から募集し、作曲はLCVの御柱のイメージソングの作曲者である前IM実行委員長である長崎寛文会員にお願いしました。急なお願いにも関わらず、長崎さんには快諾頂き、ちょっとお洒落で素敵な歌が出来ました。IMの懇親会でご披露しましたが、この度CDにしましたので、折井ガバナー、午前中の特別会員セミナーの講師をして頂いた伊藤雅基パストガバナー、ご列席頂いた三井、宮坂両パストガバナーにもお送りして、1年間の活動報告の締め括りと致します。1年間本当にお世話になりました。有難うございました。



ガバナー補佐活動報告

上伊那グループ

ロータリー歴は34年余と長いのですが、不勉強でも分からないままスタートした一年間でした。私自身、随分勉強をさせて頂きましたが6月28日箕輪ロータリークラブの創立50周年記念例会ですべての役目を終えました。ガバナー補佐の職責を全う出来たかは分かりませんが、一年間背負って来た重い荷を下ろした安堵感でいっぱいです。皆さん大変お世話になりました。「世界に希望を生み出そう」のRIテーマ、「手をつなぎ行動するロータリーの喜びを発信しよう」の地区標語の下ポリオ根絶活動を重点目標として、古着DEワクチンに取り組んだ折井ガバナー年度でした。上伊那グループにおきましても、各クラブの会長・幹事さんに大変なご尽力を賜りグループ一丸となってポリオ根絶活動に取り組み、素晴らしい成果を上げることが出来ました。心よりお礼申し上げます。我々もポリオについての認識を深め、世の中にインパクトをあたえることが出来たと思います。IMにつきましてもホストの伊那中央ロータリークラブの皆さんにお世話になり、和やかで楽しく開催出来ました。多様性の観点から各クラブの女性ロータリアンによる会員セミナー、伊那そば振興会・飯島会長様の記念講演では奈良時代に伝来した信州そばの由来をお話いただき、また懇親会のオープニングは駒ヶ根ロータリークラブのお二人が在籍する伊那フィルハーモニーの演奏で始まり、大いに親睦を深めることが出来ました。この一年間終わって見れば楽しかった？と言えますが、私にとっては少々いばらの道でもありました。私が務められたのも奉仕と親睦で結ばれたロータリアンの友情のお陰と感謝申し上げます。世界大会にも参加し、この一年間多くの

上伊那グループ ガバナー補佐
 池田 幸平
 (伊那中央RC)



皆様との出会いがあり自己研鑽の場となりました。本当にありがとうございました。



ガバナー補佐活動報告

下伊那グループ

折井正明ガバナーの指導の下、この1年間が長いようで短い1年でした。

また下伊那グループのロータリアンの皆様のご協力によりグループ全体の事業を無事終える事ができましたことを感謝申し上げます。

4グループ合同プロジェクト

①地区ロータリー財団補助金事業

「古着deワクチン」

10月21日 60名参加 100キット



②地区青少年育成基金事業

「南信州ラグビークラブ支援」

12月17日 第1回ロータリーカップ南信州ラグビー大会



下伊那グループ ガバナー補佐
市瀬 光一
(天竜川IRC)



③ IM 会員セミナー (天竜川ロータリークラブホスト)

3月3日 豊丘村「ゆめあるて」 80名参加

● 記念講演

「ロータリー活動の楽しみ 社会奉仕、国際奉仕活動より」

浜松中ロータリークラブ名誉会員 山口 貴司氏

● 会員セミナー

「オレンジリボン活動について」

子ども虐待防止ながのオレンジリボン事務局
安藤 民平氏

「ウクライナ訪問報告」

空手道禅道会主席師範 小沢 隆氏

● 珠洲ロータリークラブ義援募金

④ポリオチャリティーゴルフコンペ

6月2日 20名参加



2023-2024年度 下伊那グループ事業報告

年	月 日	内 容	備 考
2023 (前年度)	1月16日(月)	次期会長幹事会	財団補助金「古着deワクチン」の説明
	3月 7日(火)	次期会長幹事会	財団補助金の申請について
	6月19日(月)	現次期会長幹事引継会	2023-2024年度下伊那グループ資料配布
2023	7月～10月	ガバナー公式訪問・ガバナー補佐事前訪問	4RC訪問
	7月10日(月)	第1回会長幹事会 報道機関との懇談会	下伊那グループ事業について 他
	7月24日(月)	第2回会長幹事会	青少年育成基金「ラグビー支援」について
	9月11日(月)	第3回会長幹事会	財団補助金「古着deワクチン」打合せ
	10月21日(土)	古着deワクチン実施	13:30～(飯田市勤労者体育センター)
	11月27日(月)	第4回会長幹事会	財団補助金「古着deワクチン」実施報告 青少年育成基金「ラグビー支援」について
	12月17日(日)	第1回 ロータリーカップ 南信州ラグビー大会	13:00～(豊丘村・リバーフィールド) *優勝カップ授与
2024	1月～2月	IM・会員セミナーのご案内	4RC訪問
	3月 3日(日)	IM・会員セミナー (ホスト:天竜川RC)	13:00～(豊丘村・ゆめあるて) ・珠洲RC義援金募金 ・オレンジリボン支援金募金
	3月19日(火)	オレンジリボンへ支援金寄付	25,000円(おさひめチャイルドキャンプ)
	3月27日(水)	南信州クラブへラグビー支援金	青少年育成基金200,000円(ラグビーボール)
	4月 1日(月)	石川県珠洲RCへ災害義援金送金	100,000円
	4月23日(火)	事務局会議	各RC事務局出席
	5月27日(月)	ガバナー補佐候補者推薦委員会	2025-2026年度ガバナー補佐選出(飯田RC)
	6月 2日(日)	ポリオチャリティーゴルフコンペ	開会式 07:30(高森CC)
	6月16日(日)	南信州クラブより 「飯田ラグビーフェスティバル 大学招待試合」への招待 (大東文化大学×中京大学)	13:00～ 飯田市総合運動場 各RC会長・幹事・ラグビー支援委員 直前G補佐・次年度G補佐 *ラグビー支援に対する御礼として招待
6月17日(月)	現・次期会長幹事引継会	今年度報告と次年度計画について	

* 4RC合同例会は行いませんでした。

地区委員長活動報告

会員増強委員会

昨年、折井ガバナー、渡邊地区幹事から会員増強委員会委員長のご依頼があり、お引き受けして1年が経過しました。昨今の会員減少に歯止めをかけるにはどうしたら良いか、何が足りなくて何が必要かを考えてきた一年でした。

本年度の活動報告

1 新年度7月よりクラブの現況調査 クラブアンケートの実施をしました

結果

会員数減少のひとつに入会3年未満会員の退会が多く、またシニア会員の退会も大変多くなっており、実質的な退会防止策ができていないことを実感しました。

また、いつものことですが、新規入会の会員が少ない事。これは 今まで通りの勧誘方法と受け入れに問題があるのか、それとも別の要因があるのか、次年度以降にさらに深掘りをしていく必要性を感じています。

2 クラブ訪問

本年度は6クラブを訪問させて頂き、クラブの実態把握とともに、会員増強に対する意識改革を促すべく卓話をさせて頂きました。どれほど効果が出たのかは実際の会員数が示してくれると思っています。

3 会員増強とは

「会員増強」は単なる会員を増やすということではなく会員のモチベーション・スキルを上げることで、クラブ活性化に繋がっていくという流れを認識して頂くと共に、クラブ体質の強化・価値観の強化と共に、会員数に見合ったクラブ運営や事業をもっとシンプルにしていく必要があります。

4 若い世代に対する認識

若い世代は奉仕事業にはとても関心があり、積極的に行動して社会の役に立とうとする考えを持った方はとても多いと感じています。

しかし他方で、人との複雑な関係を嫌う傾向にあります。人との関係性はとても面倒だと感じ、さらには運営や懇親会などで込み入った話を嫌う傾向にあります。

私たちはその傾向をしっかり理解し、そのためにク

会員増強委員会委員長

金児 進

(信州友愛RC)



ラブは若い世代も行動しやすい事業目的や方法をシンプルで活動しやすい雰囲気を作ることが重要だと考えています。

- 5 先の6月8日に開催された「次年度のための活性化セミナー」において、大変インパクトのある地域コーディネーター補佐の東京麹町ロータリークラブの若林英博さんに講演をして頂き、「オープン例会・衛星クラブ・クラブ内会員種別」のお話を頂きました。第二部はパネルディスカッションを6クラブの方の参加で開催し、それぞれクラブの実情をお話して頂きました。

大変気づきの多いセミナーでありました。

まとめ

ロータリーの歯車をもう一度見つめてみましょう。一つの歯車では自分から回することはできません。さらに歯車には歴史ある大きな歯車もあれば新しいもの、歯が欠けているもの、小さなものなど多種多様です。ただ、こうした歯車がしっかり噛み合えば大きな力が生まれ、大きなものを動かすことができることを私たちは知っています。

しかし、この歯車も長い年月の間に回りにくくなってきます。そこで潤滑油を注いでもっと勢いよく軽く回るように、時々メンテナンスが必要です。

この潤滑油とは、やさしさ、思いやり、楽しさ、居心地の良さであり、いわゆる DEI です。

ロータリーの歯車。こうして私たちは人との連携をしながら生きているということを再認識していきたいと思います。

次年度は、こうした潤滑油を適時注ぐことや新しい歯車を創ることをもっと具体的に各クラブの皆さんと共に考え、行動していきたいと思っています。

折井ガバナーにおかれましては、この一年大変お疲れ様でした。大変素晴らしい行動的で意義ある一年でした。私も大変お世話になりました。ありがとうございました。

地区委員長活動報告

職業奉仕委員会

2023-24年度の職業奉仕委員会としての活動は以下になります。

職業奉仕委員会委員長
品田 宗久
(南佐久RC)



■職業奉仕委員会

日 時：7月8日(土)

場 所：松本商工会館

内 容：クラブの職業奉仕活動や自身の職業奉仕の理念に沿った取り組みについて各クラブより発表

■職業奉仕セミナー

日 時：11月26日(日)

場 所：ホテルメトロポリタン長野

テーマ：『ロータリーから信州を元気に』

サブテーマ「ウェルビーイング～健康で豊かな地域社会づくり～」

講 師：神野直彦氏(東京大学名誉教授)

演台『希望と楽観主義を携えて“歴史の峠を越える”豊かさから幸福へ』

パネルディスカッション：神野直彦氏・折井ガバナー・上沢直前ガバナー・桑澤バスターガバナー・白鳥ガバナーエレクト

■職業奉仕出前講座実施クラブ一覧

クラブ名	講義名(内容)	対象(場所)
蓼科RC	職業体験学習 (ビジネスマナー講座)	佐久市立望月中学校 2学年50名程度
佐久RC	ビジネスマナー講座	佐久市立野沢中学校 2学年各クラス
	ビジネスマナー講座	佐久市立浅間中学校 2学年各クラス
	ビジネスマナー講座	御代田町立御代田中学校 2学年各クラス
上田東RC	ベトナム人技能実習に際しての研修	国際経営支援事業協同組合 研修センター
長野北RC	今から10年以降の医療従事者の生活未来予想	信大附属長野中学校 1年生30名程度
伊那RC	キャリア・教育授業	伊那弥生ヶ丘高校 1年生200名



地区委員長活動報告

公共イメージ向上委員会



公共イメージ向上委員会委員長
土屋 健治
(長野RC)

今年度の地区公共イメージ向上委員会では、折井ガバナーの「ポリオ根絶に最優先に取り組む」という活動方針の下、10月を中心としたロータリーデーでの各クラブでの「古着 de ワクチン」の取り組み、また11月12日に開催された地区大会並びに一般参加者も募っての尾身 茂先生の特別講演会について、いかに広く、そして数多く社会に発信できるか…を活動のテーマとして取り組みました。

その結果、多くの新聞、テレビ、ラジオで報道していただいた他、限られた予算のなかでロータリーデー、地区大会に向けた新聞広告を2回掲載したことで、ロータリー活動への理解と協力の向上に一定の成果が得られたと受け止めています(一覧表・写真参照)。

ただ、一方で年度を通しての広報展開という課題は依然として残されたままで、体制を含めた議論が必要かとも考えています。

地道なロータリー活動への理解と協力をいかにして社会に発信し続けるか、また効果的・効率的な広報の在り方については暗中模索の状態で、まだまだ道半ばと言えます。

ロータリーとポリオ根絶への歴史

- 1979年 ロータリーがフィリピンで600万人の子どもへのポリオ予防接種プロジェクトを実施
- 1985年 国際ロータリーが初の「ポリオ」をテーマにした、世界初の国際的な慈善博覧会を開催
- 1988年 世界初の「ポリオ根絶の日」を制定
- 1994年 国際的なポリオ撲滅委員会を設立
- 1996年 世界初のポリオ撲滅の日を制定
- 2000年 ポリオワクチンが世界中に広がる
- 2006年 ポリオ撲滅委員会が「ポリオ根絶の日」を制定
- 2009年 「ポリオ根絶の日」を制定
- 2014年 「ポリオ根絶の日」を制定
- 2015年 「ポリオ根絶の日」を制定
- 2020年 「ポリオ根絶の日」を制定

Rotary Day

10月22日

11月12日

ロータリーは、どなたでも参加できるイベントです。

10月24日は「世界ポリオデー」です。国際ロータリーは40年間におりポリオ(急性灰白髄炎・小児麻痺)根絶活動に取り組んでいます。症例は、99.9%減少し、ポリオ根絶まであと少し、R2600地区(長野県)のロータリークラブもポリオ根絶に取り組んでいます。

ポリオのない世界まであと少し

ロータリーは行動しています。ポリオを永遠になくすために。

2023-2024年度 国際ロータリー第2600地区 「ロータリーデー」・「地区大会」関連の報道及び広告一覧

2023-2024年度 国際ロータリー第2600地区 「ロータリーデー」・「地区大会」関連の報道及び広告一覧

ロータリーデー	媒体名	報道日など	取材先	備考
ロータリーデー	信濃毎日新聞	10月23日(月)古着、詰めて送って途上国支援 ポリオワクチン寄付活動	松本や木曾	信毎メディアガーデン 取材
		10月28日(土)リオ五輪で金、金藤さん講演		上田東急イン 取材
	市民タイムス	10月24日(火)古着deワクチン 取り組み熱心に		信毎メディアガーデン 取材
	NHK	10月18日(水)11:54-0:00 気象情報の後(11:57頃)		なし 前バブ
	SBC	10月7日(土)17:35-17:45 東信濃みどりの町のラジオマップ ※ラジオ		なし 前バブ
		10月21日(土)21:54-22:00 信毎ニュース・天気予報		飯田市体育館 取材
		10月23日(月)11:30-11:55 ひるおびJNNニュース		信毎メディアガーデン 取材
	NBS	10月22日(日)17:30-18:00 NBS News live イット		信毎メディアガーデン 取材
	TSB	10月23日(月)11:30-11:50 NNN・TBSストレイトニュース		信毎メディアガーデン 取材
	abn	10月21日(土)17:30-17:55 スーパーJチャンネル		長野市柳原交流センター 取材

地区大会	媒体名	報道日など	取材先	備考
地区大会	信濃毎日新聞 (MGプレス含む)	11月6日(月)尾身茂さん 松本で「ポリオ」テーマに講演	地区大会	前バブ
		11月7日(火)ポリオ根絶目指す、奉仕活動の集大成 ※MGプレス	地区大会	前バブ
		11月14日(火)尾身茂さん ポリオ根絶への歩み語る	地区大会	取材
市民タイムス	11月14日(火)感染症対策の関わり語る 尾身茂さんが講演	地区大会	取材	

広告掲載	媒体名	掲載日など
信濃毎日新聞 各5段		10月1日(日) ロータリーのポリオ根絶への取り組みとロータリーデー
		10月29日(日) 地区大会(11月12日)開催告知

地区委員長活動報告

青少年奉仕委員会

本年度の青少年奉仕委員会活動についてご報告させていただきます。

青少年奉仕委員会には、青少年交換委員会、RYLA委員会、IAC（インターアクトクラブ）委員会の3つの小委員会があります。

①青少年交換事業は、国際ロータリーの直轄事業です。

交換学生の選考やホストファミリーの選定や確保、派遣国スポンサークラブと受入国ホストクラブとの調整などを、世界中の青少年交換委員会が連携して運営されています。

青少年交換学生は、自分一人で、一年間をホストファミリーのもとで、現地の学校に現地の学生と同じように通学します。そこで色々な人や文化に触れることによって、自分を見つめなおしたり、人の思いやりを感じたりしながら、次世代の国際人として成長することを目的としています。

②RYLA事業は、国際ロータリーが推進する青少年を対象としたリーダーシップセミナーです。

参加者としては、IACの高校生、来日している青少年交換学生、米山奨学生、ROTEX（交換留学経験学生等）、来日外国人青年、その他に一般参加の若者が参加します。

③IACは、2600地区内の12の高校に結成されています。それぞれのIACは、提唱クラブの支援のもとで「地域貢献と国際理解」を主として活動しています。各学校とも、独自の興味深い活動があります。

これらの3つの委員会事業を、青少年奉仕委員会の方針としては、下記のように位置づけています。

IAC：若年層へのロータリーの浸透

IA活動を通して、高校生がロータリアンを身近な存在として認識することを目的とします。

青少年交換留学：世界を意識している次世代の育成

青少年交換留学を目指す学生は、積極的に世界や社会とかかわる意欲があります。また、帰国後は、他に対する影響力と行動力のあるROTEXとして活動します。

青少年奉仕委員会委員長
脇田 博美
 （松本空港RC）



RYLA：青少年に対するロータリーの啓蒙活動と地域へのロータリーの広報

RYLAは、地方にいながら世界を身近に感じられる、ロータリーならではの国際色豊かなイベントです。一般参加者は、RYLAを通してロータリーを理解します。

今年度を振り返りますと、IACは、2校増え2600地区全体としての連携も充実したものとなっています。青少年交換留学は、派遣国の多様化が進みました。体調をくずした来日学生もいましたが、規定の規則に則って、派遣元の青少年交換委員会と2600地区青少年交換委員会の間で、学生のための最善を協議することができました。

RYLAについては、本年も素晴らしい内容となりました。大人のロータリアンが、心の底から「青少年の未来が幸せなものであってほしい」と考えていることが、参加した青少年の心に響いているのが感じられました。戸倉上山田RCをはじめ、ご尽力いただいた皆さんに心から感謝いたします。

青少年奉仕委員会は、「ロータリーファミリーの育成と一般への広報」をテーマに各事業の位置づけと連携を図り、ROTEXや財団奨学生、米山奨学生、学友会などの有望なロータリーファミリーとの交流を、青少年の育成とロータリアンの活性化につなげていきたいと考えています。

色々な場面でお世話になった皆様に心より感謝申し上げます。ご報告とさせていただきます。





地区委員長活動報告

青少年交換小委員会

青少年交換委員会の活動にご理解を頂き、直接かかわっていただいたロータリアン、ホストファミリー、学校関係者、すべての皆様に、貴重なお時間を本事業に注いで頂き、誠にありがとうございます。

本年度の青少年交換委員会の活動は、派遣学生6名、来日受入学生6名で行われました。10月には派遣候補生3名が決定し、受入学生の準備も含めて委員会で活動を進めてまいりました。また、前年度の留学生達もROTEXとして活動してくれました。

派遣学生は以下の通りです：

- ・林 夏海さん (白馬RC)：ブラジル派遣
- ・土橋 茉奈さん (茅野RC)：スウェーデン派遣
- ・小林 秀さん (松本空港RC)：スイス派遣
- ・中林 勇誠さん (松本空港RC)：オーストラリア派遣
- ・寺島 美咲さん (戸倉上山田RC)：フランス派遣
- ・前所 優華さん (蓼科RC)：オーストリア派遣

受入学生は以下の通りです：

- ・デクランさん (オーストラリア)：スポンサークラブ 松本空港RC
- ・ミリアンさん (ブラジル)：スポンサークラブ白馬RC
- ・リリーさん (オーストリア)：スポンサークラブ蓼科RC
- ・ローレンスさん (スイス)：スポンサークラブ松本空港RC
- ・マドレーヌさん (フランス)：スポンサークラブ戸倉上山田RC
- ・アヴァさん (スウェーデン)：スポンサークラブ茅野RC

委員会事業は、年間計画事業が13回と多くの活動を行う委員会です。委員をはじめ、事務局として事業に参加して下さっている武内さんの協力も得て、可能な限りみんなで事業を分担し活動してまいりました。

これらの事業の中で、受入学生にとって大きなイベントは以下の通りです：

- ・12月：東京研修
- ・1月：スノーモンキー・インターアクト合同研修
- ・2月：関西研修
- ・3月：白馬交換学生スキーの集い

青少年交換小委員会委員長
萩原 直己
(箕輪RC)



- ・6月：全国青少年交換研究会 (山形会議)

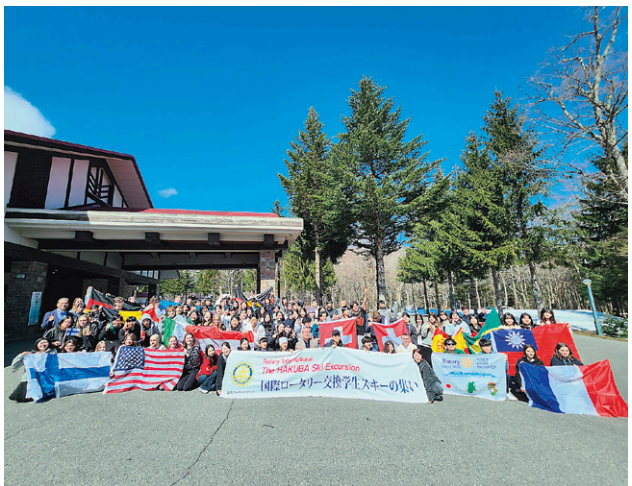
これらの事業は宿泊を伴うものであり、委員の皆様の協力のもと無事に終了することができました。ほかにも、いくつかの研修、地区大会への参加やクリスマスオリエンテーション等を実施しました。学生たちは異文化を理解し、国境を越えた友情と信頼を築き、世界の平和について考える機会を得たと思います。

来日学生の成長には目を見張るものがあり、スポンサークラブのロータリアンの皆様もその成長の早さに驚かれたことと思います。来日当初、日本語がうまく通じなかった学生たちも、前向きな精神で一生懸命に頑張り、留学の終盤には日本語も流暢に話せるようになりました。今回スポンサークラブでなかったロータリークラブの皆様も、興味がありましたらぜひお手を挙げてみてください。とても良い経験になると思います。

もう一つ大切な事業活動は、前年度留学を経験し日本に帰国されたROTEXの皆さんによる帰国報告会です。ロータリーを通じて世界の文化や考え方を経験して帰ってきた子供たちの率直な意見や経験についての発表を、限られた時間の中で素晴らしいプレゼンテーションで披露してくれました。ここでガバナーからディプロマ (卒業証書) が授与され、このロータリーの留学を終了したことを皆で祝いました。ぜひ、興味のある方は次年度の帰国報告会に参加してください。

このように、派遣、受入、候補生の準備といった3つの事業が並行して動いていましたが、委員会の皆ができることを分担し、有意義な活動ができたと思います。この交換留学という事業を通じ、交換留学を経験した留学生だけでなく、本事業に携わったロータリアンをはじめ、すべての方にとって素晴らしい経験となり、それぞれの立場や考え方に良い影響を与えたのではないかと思います。

本事業にご理解とご協力を頂きました2600地区ロータリアンの皆様、および本事業に関わっていただいたすべての皆様に感謝を申し上げ、本年度事業のご報告とさせていただきます。ありがとうございました。



地区委員長活動報告

RYLA小委員会



RYLA小委員会委員長
 氣賀澤 正門
 (駒ヶ根RC)

1. 第34回 RYLA in 戸倉上山田
 5月11日(土)・12日(日) 1泊2日
 大会テーマ「百花繚乱 ～最高の仲間と咲き誇れ～」
 会場：千曲市総合観光会館
 千曲高原 大池自然の家
 基調講演：講師 冬季五輪スピードスケート
 金メダリスト 高木奈那さん
 オリエンテーション：講師 保科章子さん
 長楽寺と棚田散策：案内 楽知会の皆さん
 グループディスカッション：講師 保科章子さん
 夕食会(バーベキュー)：キャンプファイヤー
 花火大会
 目覚めのヨガ教室：講師 塚田佳代子さん
 ミニコンサート：～バイオリンとチェロの二重奏～
 バイオリニスト 對馬哲男さん
 チェリスト 川島舞衣さん

テーマのとりの「百花繚乱」花が咲き小鳥がさえずり緑がまぶしい環境の中、素晴らしいRYLAが開催でき、ライラリアンもロータリアンも深い学びと思い出の二日間でした。ホストクラブの戸倉上山田ロータリークラブの皆様には素晴らしいプログラムを造っていただき心から感謝申し上げます。

2. 第16回全国RYLA研究会福島会議
 「RYLAからロータリーの未来を語ろう」
 6月8日(土)・9日(日)
 会場：福島県郡山市磐梯熱海温泉ホテル華の湯
 RI現況報告：RI理事佐藤芳郎氏

- RID2530：RYLAセミナー報告
 基調講演：「RYLAの本旨と発展～世界の状況～
 TRF管理委員長(RID2680DG)
 三木明氏
 シンポジウム：「RYLAからロータリーの未来を語ろう」
 全国青少年奉仕委員長会議
 分科会：A RYLAセミナーのプログラム等
 B 学友会等
 C 危機管理

2日間にわたり参加し、当地区の現状と全国他地区の状況がよく理解でき、今後の参考になりました。

3. 第35回RYLA in OKAYA 開催予定
 9月28日(日) ホスト：岡谷ロータリークラブ
 テーマ：「君たちはどう生きるか」～与えるものは与えられる～
 一年間素晴らしいRYLAプログラムが継続するように努力します。
 よろしく願いいたします。



第34回RYLA in 戸倉上山田



第16回全国RYLA研究会福島会議

地区委員長活動報告

インターアクト小委員会

おかげさまでコロナの影響を全く受けない1年間であったため、IAの活動は非常に活発になりました。

各高校においても多数の独自研修が実施され、IA委員会もそのエネルギーに応えるように、夏合宿（ロゲイニング）、冬合宿（青少年交換との共催でスノーモンキーツアー）、インパーソンでの地区協議会を地区主催で開催し、最後に松商学園高校様に主催していただいた素晴らしい地区大会で1年間の締めくくりをすることができました。

また2600地区インターアクトのHPも作成し、活動内容をWeb上で発進できるようになりました。多分、インターアクトのHPとしては日本で一番充実していると自負しております。（下記QRコードからご確認できれば幸いです、）

やり残した課題はいくつかありますし、来年は全国IA研究会が、2600地区をホストとして開催されます。これらを小池委員長にお願いをして、この役職を退任するのは心苦しいですが次期委員長の小池会員はインターアクト出身の現役高校教師なので、誰よりも深い理解のもと更に活動を活発なものにしてくださいと思います。

3年間慣れない委員長をサポートしていただいた桑澤カウンセラー、委員の皆様、顧問教師の皆様、そして誰よりも小池新委員長に深く感謝を申し上げ、活動報告に変えさせていただきます。

インターアクト小委員会委員長
飯沼 新吾
（松本南RC）



古着でワクチンでも IA生が大活躍



2600地区インターアクトHP

地区委員長活動報告

国際室・グローバル補助金推進小委員会

1年を振り返って

私たちの第2600地区でも幾つかのクラブに於いて恵まれない国々や地域へ手を差し伸べる計画がなされています。

計画はあるもののいざ実行となるとグローバル補助金のハードルは高く、今年度は事業を遂行することはありませんでした。しかしながらグローバル補助金事業は単年度事業ではなく永続的に行えるものとされています。次年度にもその灯の消えぬよう継続していきたいと考えます。

奨学金については、かつてのように学業に意欲をもつ学生を支援するというよりは、世界を良くする活動組織のリーダーを育成するための目的へと変わってきており

国際室・グローバル補助金推進小委員会
委員長 関 守昌
（松本空港RC）



ます。ある意味本当の意味で世界をより良くしようというロータリー財団の強い意志を痛感しております。次年度一名の推薦は決定しております。

グローバル事業に現在、取り組んでいる皆様、これから取り組もうとしているクラブの方々に当委員会は事業継続をお願いするとともにできる限りのお手伝いをさせていただき所存でございます。グローバル補助金申請には締め切りがございません。更なる立案・行動を期待申し上げます。

地区委員長活動報告

ローターアクト委員会

皆様、折井年度の地区ローターアクトの活動について報告させていただきます。

コロナ5類移行を受けて活動制限が少なくなって初めての年度になりました。コロナの影響はRACの活動に大きな影響を与えました。少ない人数で活動をする中で、直接会う事も出来ず、名前は知っているけれど、どんな人なのか良く知らないという状況だったと思います。そのような中で、まずは「in person」の会合を増やしていこうという事を当面の目標にしました。会長幹事会を年間4回、上田、松本、諏訪、飯田の持ち回りで実施しました。会議の後は懇親会を実施し、交流を深める事が出来ました。また、3地区交流プロジェクト(名古屋市)や、RA全国大会(山形市)などにも参加をし、他地区のローターアクターとの交流をし、RAの現状の問題点や他地区の事例なども共有化をする事ができました。一定の成果はあったと思います。

また、RAのフェイズの変化に追随すべく、地区RA委員会にロータリアンだけではなく、ローターアクターにも参画をしてもらい、より密な協議を実施してきまし

ローターアクト委員会委員長
飯島 洋一
(上田東RC)



た。更には、折井ガバナーのご提案でRACへのガバナー公式訪問(オンライン)も実現させていただきました。2600地区RACの現状など生の声を地区役員の皆様にもお届けし、理解をしていただけたと感じています。6月のRA地区大会では、電車の中で活動報告やイベントを開催する…と云う新しい試みも実施をしました。原地区代表のお仕事電車の運転士という事によるものです。

他方、残念ながら、松本RACの解散、上田RACの休会という現実直面した事は残念であり、痛恨の極みです。私の力不足を強く感じています。

ともあれ、一年間、ローターアクトクラブの活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。御礼申し上げます。引き続き次年度もよろしくお願い致します。

地区委員長活動報告

学友委員会

折井ガバナー年度の学友会委員会の活動として、学友同士の交流が活発になるようLINEグループを通じての交流オンライン交流会を行いました。今年はグローバル補助金奨学金奨学生学友の複数名が帰国し、国内外で活動する学友が増えました。次年度は国際経験のある社会人である学友として、青少年の皆さんとの交流やロータリークラブ活動への参加について声も出ており大変嬉しく思います。

学友委員会委員長
大森 美和
(丸子RC)



写真は、グローバル補助金奨学生学友の高島牧子さんが、アーティストとして東京都の天王洲寺田倉庫ギャラリーでご自身の作品の展示会を行った際、同じグローバル補助金奨学生学友の井上さん松下さんが展示会に訪れた時の写真です。



地区委員長活動報告

地区補助金小委員会

今年度、地区補助金プロジェクトは、折井ガバナーの重点事業、古着でワクチンプロジェクトの申請が24クラブから5プロジェクトとして共同申請され実施されました。

ポリオ支援の補助金事業は不可なため、その申請には様々な難関がありました。無事申請にこぎつけ、県内各地でプロジェクトが実施され、2600地区のロータリークラブの団結、そして力を感じました。委員会メンバーの皆様にお力をたくさんいただき、申請承認

地区補助金小委員会委員長
滝澤 義一郎
(駒ヶ根RC)



実施に至ったと思います。委員会メンバーの皆様ありがとうございました。

今年度は2600地区の地区補助金事業の新たな方向性、可能性を感じた一年となりました。

地区委員長活動報告

財団資金管理会計小委員会

今年度、当小委員会では、23件の地区補助金事業報告書の審査を行いました。例年約40件の審査を行っておりますが、今年度はガバナー提唱の「古着でワクチン」事業を複数のクラブが共同で行ったため件数は減りましたが参加クラブ数は例年並みでした。地区補助金事業は、皆様からいただいた大切な寄付金を原資とする事業ですので厳格な審査をさせていただきました。審査の結果、今年度も多くの指導を行いました。指導事項は例

財団資金管理会計小委員会委員長
村田 弘志
(長野西RC)



年とはほぼ同じでした。資金管理・報告書作成のルールがうまく継承されていないと感じました。次年度は、クラブ内で報告書作成の情報が継承できるような工夫が必要であると感じました。

地区委員長活動報告

資金推進小委員会

今年度開催されました各セミナーや会議において、寄付目標に対する達成状況の報告を行い協力をお願いして参りました。円安が加速している中、ドルベースで唯一ポリオプラスが一人当たり50ドルを超えて目標を大きく上回り、年次基金についても全クラブからご協力をいただきました。

第2地域の「恒久基金・大口寄付情報交換会」では、9地区の事例や課題が出され、当地区においても、未来の持続可能なプロジェクトを実施するための恒久基金に付いて更なるご理解を深める必要があると感じました。

今年度3回開かれた第1～第3地域の「ロータリーカード推進委員セミナー」では、34地域の取組みや、加入状況・利用状況の把握ができ、当地区のロータリーカード

資金推進小委員会委員長
下形 眞生
(上田西RC)



加入件数も伸びている中、利用額は前年度比、オリコ個人カードが約1.3倍、ダナーズクラブカードは2.6倍を上回っています。

ロータリーカードを使用する事によりポリオ根絶の為の支援資金につながりますので引き続き宜しくお願いいたします。

一年間ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。

地区委員長活動報告

デジタル化推進委員会

本年度はデジタル化委員会が設置されて3年目の活動となりました。デジタル化委員会設置時の目標は、ロータリーのデジタル化を通じて、ロータリーと地域全体の活性化を図ることでした。具体的には当時猛威を奮っていた新型コロナウイルスの影響下で、ロータリー活動や社会活動を少しでも下支えすることでした。

しかしもちろん突然デジタル化が実現できるわけではありません。そこでまず委員自身のデジタル化、地区行事のデジタル化、個別クラブのデジタル化、最終的にはデジタル化を通じた地域の活性化を目指すこととしました。

1-2年目は最初の2つをある程度実現するのが精一杯で、個別クラブへは広報活動等を通じた働きかけや問合せに答える程度でした。

3年目の本年度は、地区の行事でもそれなりに複雑なオペレーションを担当できるようになりました。それに加えて各クラブの活動のオンラインでの広報を通じて地区全体のプレゼンスが向上を図りました。具体的には各クラブの担当者を対象に4種類のSNSセミナーを3度オンラインで開催し、発信のバックアップを行いました。加えて地区ホームページの活性化を支援したり、個別クラブの例会をオンラインで開放し、多くのロータリアンに参加していただくなど、活動の幅を広げることができました。

それでも十分に役割を果たせているわけではありません。委員会では、地区をさらに活性化させるための仕組みづくりや、個別クラブのデジタル化の支援などを行う体制を取っていきたくと話合っています。

デジタル化推進委員会委員長
合原 亮一
(上田六文銭RC)



私ごとになりますが、3年前にできたばかりの委員会の委員長をお受けすることになった時は、地区の委員も初めてという自分に務まるか不安でした。実際1年目は新型コロナの影響が大きかったこともあり、本格的な活動には至りませんでした。しかし当時の桑澤ガバナーに継続的にサポートしていただきながら、良き委員の仲間恵まれ、地区委員会として安定的な活動ができるようになり始めたところです。新年度は優秀な次期委員長に道を譲り、一委員としてバックアップしていきたいと考えています。皆様の3年間のご支援ありがとうございました。



地区委員長活動報告

RLI 委員会

令和5年6月4日に第1回の委員会を開催しました。本年のRLIの日程等を決めるとともに、新たに2名のファシリテーターが誕生しましたので、その研修も行いました。

同年7月27日には、私と古川アドバイザーが、RLI日本支部の総会及び研修会に参加しました。RLIを実施している日本の各地区からファシリテーターが集まり、8人程度のグループになって、研修をしました。RLI日本支部では、本年から、ファシリテーターのスキルアップのため、ガイドブックを作成しました。上記研修も、このガイドブックをもとに行われました。当地区でも、このガイドブックの必要性を感じましたので、購入し、全てのファシリテーターに配布しました。

本年のRLIは、パートIを令和5年9月3日、パートIIを同年11月9日、パートIIIを令和6年1月28日、補習コースを同年2月18日、卒業コースを同年3月30日に、いずれも塩尻市の市民交流センター（えんぱーく）において開催しました。

パートIでは、ロータリアン39名、ファシリテーター10名にご参加いただきました。冒頭の全体会において、古川アドバイザーから、参加者全員に対し、RLIの開催の趣旨、意義などの説明がありました。その後、参加されたロータリアンの皆様に5グループに分かれていただき、1グループ約8名で、パートIの6セッションをそれぞれ受講していただきました。

パートIでは、「ロータリアンとしての私」をテーマに、一人ひとりがロータリアンとしてまず学ぶべきことが、各セッションを貫くテーマになっています。各セッションは、

RLI委員会委員長
佐藤 友則
(上田東RC)



「ロータリーにおけるリーダーシップ」「私のロータリー世界」「倫理と職業奉仕」「財団I 私たちの財団」「会員の参加を促す」「奉仕プロジェクトを創造する」になります。

パートIIでは、「私たちのクラブ」をテーマに、「私」から「クラブ」にテーマを移し、ディスカッションをしました。各セッションは、「戦略計画とクラブの分析」「会員を勧誘する」「チーム作りとクラブコミュニケーション」「米山記念奨学事業」「ロータリー財団II目標とする奉仕」「強いクラブを創る」になります。

パートIIIでは、「私のロータリーの旅」をテーマに、「クラブ」からロータリアンとしての絶えざる学びの「旅」にテーマを移し、ディスカッションをしました。各セッションは、「ロータリーの機会」「効果的なリーダーシップ戦略」「ロータリー財団III国際奉仕」「公共イメージと広報」「規定審議会・決議審議会」「変化をもたらす」になります。

このようにパートIからパートIIIまで参加することにより、参加者の皆様の学びが「私」という個人から始まり、「クラブ」へと広がり、さらにロータリアンとしての絶えざる学びの「旅」へと、段階的に深まっていくことが意図されています。そして、旅の行き先は「ロータリアンとしての成長とロータリー観の確立」になっていきます。

卒業コースでは、「ロータリーの歴史」「ロータリーの新



しい流れ」の2セッションを実施しました。「ロータリーの歴史」では、改めて、ロータリークラブの誕生からの歴史について確認し、「ロータリーの新しい流れ」では、DEIについて、行動規範を確認しながら、どのようにして実践するのかを確認しました。卒業コース後、修了式を実施しました。本年の修了者は37名でしたが、そのうち当日参加された方には、折井ガバナーから直接、修了証を交付していただきました。修了式の後の懇親会では、参加者お一人お一人から、RLIの感想などを述べていただきました。

いずれのセッションにおいても、参加された皆様からは、各テーマに沿って様々な意見が出されました。また、テーマによっては、ご自分が所属するクラブの現状についてお話ししていただきました。参加された皆様には、他の参加者の意見や、他のクラブの状況を聞くことで、自分のクラブとの相違や、新たな発見や気づきがあったと思います。また、丸1日、他のクラブの方とグループを作り、ディスカッションをすることで、ご自分のクラブ以外に、2600

地区に知り合いを作ることが出来たと思います。

参加された皆様に、RLIのアンケートを実施しましたので、添付いたします。

RLIを卒業された方は、ファシリテーターの資格を得ます。ファシリテーターとして、RLIに参加することは、受講生とは異なった立場から、ロータリーについて考えることが出来ます。RLIを卒業された方には、是非ともファシリテーターになっていただきたくお願いいたします。各クラブからお一人はファシリテーターになっていただくことが目標です。

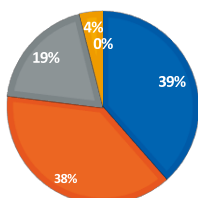
次期も、本年と同様にRLIを実施いたします。この研修会を2600地区の全クラブの皆様に体験していただきたいので、2600地区の全てのクラブから参加していただくようお願いいたします。RLIに参加されるロータリアンの皆様と、お会いし、ディスカッションができることを楽しみにしております。

本年は、大変お世話になりました。ありがとうございました。

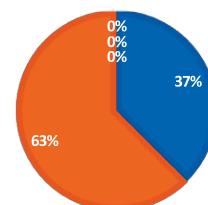
2023-24 RLI参加者 アンケート

(アンケート総数 32)

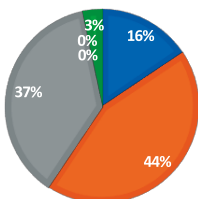
RLIに使用している会場について	
回答	数
とても良い	20
良い	20
普通	10
悪い	2
とても悪い	0



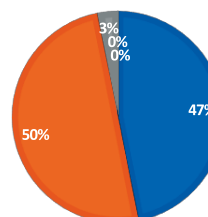
RLIに参加してよかったか	
回答	数
とても良かった	12
良かった	20
普通	0
良くなかった	0
とても良くなかった	0



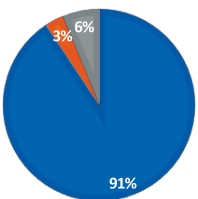
昼食のお弁当は満足して頂けたか	
回答	数
とても満足	5
満足	14
普通	12
不満	0
とても不満	0
その他	1



RLIのディスカッションリーダーはよい存在だったか	
回答	数
とても良かった	15
良かった	16
普通	1
良くなかった	0
とても良くなかった	0



RLIの参加料は適切か	
回答	数
適切	29
不適切	1
その他	2



地区委員長活動報告

米山記念奨学委員会

委員長の5年半を振り返って

2019年の年明け前委員長が急に退任され、何もわからないまま委員長を引き継いでから無我夢中で米山奨学委員会の活動に携わってきました。しかも、翌2020年にはコロナウイルスが蔓延し、奨学生の観光と懇親会を中止せざるを得ず、オリエンテーションも全員一緒には行なえなくなりました。

しかし、他方、委員会活動としてはオンラインを活用し、直接会わなくとも意見を交わす機会が持てるようになりました。そして、今年度地区大会では、初めての試みとして、元米山奨学生の林華明RI会長代理にホームカミングの講演していただき、林氏を含む米山学友3人でパネルディスカッションを行なうことができました。また、終了式、オリエンテーションでは多くのロータリアンに参加していただき、ロータリアンの熱意が日増しに

米山記念奨学委員会委員長
町田 清
(佐久RC)



高まってきているのを実感しました。

これまで古川パストガバナーはじめ多くの方々にお世話になりました。感謝の一語に尽きます。ありがとうございました。

2024年度は、岡村肇氏に委員長が代わります。米山委員も代わります。

平和の懸け橋として活躍する人材の育成を目指し、お互いを知ることで国と国との関係に左右されない、人と人との関係を築いていきましょう。世話クラブとカウンセラーの方はもとより、ロータリアンの皆様、引き続き米山奨学生に対するご支援、ご協力をお願いいたします。

2023-2024年度 委員会活動報告

2600地区米山奨学委員会
副委員長 岡村 肇(長野北RC)

この1年は次期委員長として、一つでも多くの事を学ぼうと心に決めてのスタートでした。

まずは8月26日の米山セミナーについての検討から始まりました。

そして8月2日には委員会が開催され、米山親善大使である陳瑤さんに講演をして頂くことになりました。

この陳瑤さんとの出会いは、私に本当に大きなインパクトを与えました。

彼は、四日市で奨学生をして、その時のカウンセラーから多くの学びを得て、人生が変わったとお話でした。

そのカウンセラーは不幸にも若くして亡くなってしまいましたが、形見の腕時計は今でも大切にしているとのことでした。

陳瑤さんとは米山セミナー終了後の打ち上げでもお話を聞けました。

そして、米山奨学制度に強い感謝心がある事、国としては政治的な対立がある場合でも米山学友同士となれば尊敬心が発生する事を教えてくれました。

私は、彼のお話から、米山奨学制度は本当に有意義だと強く感じる事ができました。

その後、11月の地区大会には奥様とお子様も連れて参加して頂きました。

更には6月6日に東京で開催された米山委員長セミナーでも再会できました。

たまたま地区米山セミナーに米山親善大使を招くことになり、更に偶然に陳瑤さんが来てくださり、何度もお話を伺うことができ、米山奨学制度の重要性を強く実感した一年でした。

次期である2024-2025年度では委員長として、奨学生の皆さんに日本の良さを知って頂き、将来には日本との懸け橋として育っていくよう精励いたします。

米山奨学委員 永井 和男(須坂五岳RC)

地区米山委員会に3年間お世話になり、この度卒業しました。

世間で言えば、とうに定年過ぎの私がお役に立てたのかわかりませんが、一番の思い出は、コロナで途絶えていた奨学生の懇親会を、22～23年度に開催出来たこと

です。委員兼務の地区副幹事米山担当の立場で、町田委員長のご協力をいただきながら、準備を進め、実現にこぎつけました。大いに盛り上がったと自負しています。

若い奨学生達と接し、大いに元気もらった3年間でした。

古川さん、町田さんはじめ、委員の皆様、ありがとうございました。

学友会の活動について

2023-24年度学友会長 朱 春紅

2023-24年度学友会の活動として、主に地区大会の参加、自国自慢のお茶のサービス、学友会懇親会、奨学生終了式・歓送会及び学友総会、新年度米山奨学生オリエンテーション等が挙げられます。ここで、地区大会、お茶のサービス、および学友会懇親会を簡単に報告します。

2023年11月11日～12日に松本にあるホテルブエナビスタにおいて、地区大会が開催されました。米山奨学生14名、学友会7名も地区大会に参加しました。初日大会終了後浅間温泉「目の湯」において米山学友会懇親会を行いました。懇親会には地区委員会から5名が加えていただき、盛り上げました。

懇親会では、おいしい夕食を食べながら、自己紹介を行いました。米山奨学生は出身国、所属大学・キャンパスも異なり、普段会う機会が少なかったです。また、ほとんどの学友は長野県外で、中国上海や東京、横浜等か

ら来ましたので、奨学生と初対面でした。さらに、地区委員会のメンバーとも会う機会が多くないので、懇親会をきっかけに皆さんは仲良くしていました。その後、同じ温泉旅館で二次会を行い、コンビニで買ったお菓子、おつまみ、お酒を食べ・飲みながら、歓談しました。テーマは色々ですが、卒業後の予定や日本での仕事の事情、将来の抱負等、皆さんが将来のことに大いに期待しているそうです。

次の日の地区大会では、友愛の広場で学友会によるお茶のサービスを行いました。台湾の日月潭の紅茶や、中国の鉄観音（烏龍茶）、アップルティー（リンゴの葉っぱから作った）等があり、文化交流やロータリアンの皆様への感謝の意を込めて提供させていただきました。ロータリアンの皆様、晩秋の温かいお茶は美味しかったですでしょうか？

今回の地区大会、懇親会、お茶のサービスも楽しみにしています。また、学友の皆様、時間があればぜひ参加してください。

皆様、次年度も引き続きよろしくお願いたします。

